

校長室から

東京都立武蔵野北高等学校
校長 鶴飼敦之

「武蔵野北に夢をのせて」

『先生方も日々、研鑽しています』

文部科学省が先頃発表した令和2年度の生徒に関する調査では、過去最多となる19万6千人を超える小・中学生の不登校が報告されました。新型コロナウイルス下で学校に様々な影響がでていることが浮き彫りになったと言えるでしょう。

制限続きの学校生活で「なんとなく不安」といった漠然とした理由の不登校が増加。感染対策で多くの学校行事が中止となり、昼食は前を向いて黙って食べるだけ。カロリーを摂取するだけの食事がナント味気ないものか。食事は楽しく会話をしながらという当たり前のことができない。我慢だらけで学校が楽しいと思えなくなっているのかもしれない。

本校でも保健室への来室やスクールカウンセラーへの相談件数が増えています。理由はそれぞれでしょうが、「学校が楽しい」と感じ、夢の実現へ意欲が生まれる学校本来の魅力を感じ取ってもらえるようにしたいと思います。

先生方も、生徒一人一人の様子に、どのような声を掛けたいのか？ どう接したらいいかと感じています。そこで、10月20日の中間試験中の午後、本校スクールカウンセラーの上野先生を講師として職員研修会（「武蔵野北高校～不登校の背景にあるもの～」）を開催しました。多くの先生が参加し、上野先生からは情報共有が大切とのアドバイスを受けました。担任の先生一人で抱えるのではなく、学年や学校、さらに外部の機関とも連携しながら対応していくことの重要性を改めて共有できたと思います。

新型コロナウイルス感染症について、東京都はリバウンド防止期間の終了を決定しました。学校生活も徐々にコロナ禍以前の状態に近づいてくるのかもしれませんが、ただし、感染予防等の取組は欠かさぬようお願いします。日々の健康観察やマスクの着用などは言うまでもなく、羽目を外して行動することのないよう心掛けたいものです。保護者の皆様におかれましても、ご家庭での感染症対策について、引き続き予防の徹底をお願いいたします。



【10月20日 1年6組の教室から】



【職員研修会の様子】

週末は少し太陽が顔を見せましたが、先週は寒い日が続き、北風で空気が澄んで富士山もしっかり望めました。

中間試験最終日は雨降り、コートが必要な天候でしたね。これから日ごとに寒さが厳しくなっていきます。

衣替えに入りました。登下校の際は、制服をしっかりと着て、身だしなみを整えましょう。また、挨拶など凡事徹底してますか？